

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 火口から概ね 4 km 以内の居住地域に大きな噴石が飛散するような噴火が発生、あるいは切迫している (火砕流・火砕サージは居住地域近くまで)。 融雪型火山泥流が居住地域に到達、あるいは切迫している。 【過去事例】 有史以降の事例なし
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される (可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。 要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 火口から概ね 4 km 以内の居住地域に大きな噴石が飛散するような噴火が予想される (火砕流・火砕サージは居住地域近くまで)。 融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼす噴火の発生が予想される。 【過去事例】 有史以降の事例なし
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 登山禁止・入山規制など危険な地域への立入規制等。 状況に応じて特定地域の避難、要配慮者の避難準備等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 火口から概ね 2.5km 以内に大きな噴石が飛散、火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が流下するような噴火の発生、またはその可能性。 【過去事例】 1900 年 7 月 17 日：沼ノ平火口で水蒸気噴火。
			2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口周辺への立入り規制等。 状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 火口から概ね 1 km 以内に大きな噴石が飛散するような噴火の発生、またはその可能性。 【過去事例】 1899 年 8 月 24 日：沼ノ平火口で水蒸気噴火。
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入り規制等。	<ul style="list-style-type: none"> 火山活動は静穏。 状況により火口内に影響する程度の火山灰や火山ガス等の噴出。 【過去事例】 1996 年 9 月：白色噴煙 30m、沼ノ平中央部で泥が噴出し直径 100m に飛散。 2000 年 2 月：一時的に噴気が 300m まで上がる。

※特定地域とは居住地域よりも安達太良山の想定火口に近い所に位置する、または孤立が想定される集客施設を指す。

居住地域より早期に避難等の対応が必要になることがある。

※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。

安達太良山の噴火警戒レベル（現行）

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等への 対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・噴火に伴う融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。 【過去事例】なし 【予想される事例】1900年の水蒸気爆発が積雪期に発生した場合
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・噴火に伴う融雪型火山泥流が発生し、居住地域まで到達すると予想される。 【過去事例】なし 【予想される事例】1900年の水蒸気爆発が積雪期に発生した場合
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備。登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模噴火が発生して、火口外に噴出物が飛び出す。 ・ベースサージ（爆風）、岩屑なだれ等。 【過去事例】1900年7月17日：噴火、沼ノ平火口内で水蒸気爆発。火口内硫黄精錬所が吹き飛ばされ72名死亡、10名負傷。 ・中規模噴火が予想される。 【過去事例】なし
	火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。沼ノ平火口内への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模噴火が発生し、沼ノ平火口内での噴石飛散。 ・噴気、泥、硫黄等の噴出。 【過去事例】1899年8月24日：噴火、沼ノ平火口で水蒸気爆発。直径40mの新火口生成。降灰東方数km。 1997年4月頃～：沼ノ平火口底の地中温度上昇 ・小規模噴火の発生が予想される。 【過去事例】なし
噴火予報	火口内等	1 (平常)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	沼ノ平火口内で危険な箇所への立入規制。	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく小規模な噴気、泥等の噴出。 【過去事例】1996年9月：白色噴気30m、沼ノ平中央部で泥の噴出、直径100mに飛散 2000年2月：一時的に噴気300mまで上がる

注1) ここでの「噴石」とは、主として風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きさのものとする。